

# 第4期 1回目授業

## ～入学式～

開式のことば (近藤教頭)

校歌斉唱

お祝いのことば (丸山校長)

お祝いのことば (松田上板町長)

お祝いのことば (名誉PTA会長山崎氏)

新規入学生 呼名

閉式のことば、事務連絡



## ～1時限目 松重先生～



### チャレンジする心 -ベンチャー、伝統と先端技術の融合、阿波藍-

◇京都での事例 (京都大学 工学研究科電子工学専攻教授のとき)

京都大学ベンチャー・ビジネス・ラボトリー (京都 VBL) が、ベンチャー精神に富む若手の育成を目的に作られた。→\*テクノ愛コンテスト (青森の高校生が白いリンゴを作り、白と赤の紅白リンゴを贈り物という発想) \*グローバルリーダー育成カップ\* 起業能力検定の実施など

→京都大学内に知的特区として、京大ベンチャーズを設立した。

京都はハイテクベンチャーがたくさんあり (任天堂、京セラ、オムロン等)、京都大学の3つあるキャンパスが起業と連携して、イノベーションを創出。

- ・廃校になった中学校を学びの場として改装して小学校の子たちに教える場をつくった。
- ・京都風電器自動車 (京都にあるハイテクベンチャーの会社の先端技術と伝統文化を掛け合わせる)  
→京都風木型電気自動車、京都風竹型電気自動車、京都風電動アシスト人力車などを開発。

### ◇徳島県の特徴と課題

地方創生が課題。人口減少、特に若い女性が半減すると言われている。大学での18歳人口も減少している。→東京や大阪や県外に若者が行って、四国大学も学生確保が課題に。→大学改革を行う必要がある。学生に選んでもらえる四国大学へ。(下記のような大学改革とブランディング構築を行う)

- ・地域研究として「新あわ学」研究を創設。+外部資金として「みま学」、「文科省ブランディング事業」、「藍に関するプラットフォーム事業」の企画部門を立ち上げて、四国大学で地域教育の体系化を。
  - ・先進的地域貢献大学を目指して。SUDAchi プロジェクト。地 (知) の拠点大学による地方創生推進事業、大学的徳島ガイド、新あわ学コース、あわ検定。藍の新製品や藍の可能性を広げる活動を行う。
  - ・特徴ある大学へ向けて。スポーツを通じた人材育成・地域活性化に向けてスポーツ関連施設を作った。
- 学生の数が増えてきた。元気な大学になりつつある。夢を実現する大学へ。

## ～鳴門中学校 音楽部箏演奏会～

音楽部の箏演奏で、金賞を取り、全国大会に行く事になりました。

全国大会へ行く前に熱中小学校で演奏をしてくれました。

